

本調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施するものです。

調査実施日：令和5年4月18日（火）

英語「話すこと」調査の実施日：令和5年4月18日（火）～5月26日（金）

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、基本的生活習慣等、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査（一部）について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施。

時間割

◎小学校

1 時限目	2 時限目	
国語 (45 分)	算数 (45 分)	児童質問紙 (20～40 分程度) *1

◎中学校

<英語「話すこと」に関する調査の当日実施校*2の場合>

調査日	1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目
	国語 (50 分)	数学 (50 分)	英語「聞くこと」・「読むこと」・「書くこと」 (45 分)	生徒質問紙*1 (20～45 分程度)	英語「話すこと」

<英語「話すこと」に関する調査の期間内実施校*3の場合>

調査日	1 時限目	2 時限目	3 時限目	
	国語 (50 分)	数学 (50 分)	英語「聞くこと」・「読むこと」・「書くこと」 (45 分)	生徒質問紙*1 (20～45 分程度)

文科省指定日	
	英語「話すこと」

※1 児童生徒質問紙調査は、教科調査終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。オンライン方式により実施する場合には、ネットワーク環境を考慮して日程分散を行う関係上、必ずしも教科調査と同じ日にならないこともある。

※2 当日実施校：文部科学省が抽出した約 500 校で 4 月 18 日に実施

※3 期間内実施校：当日実施校以外の学校で 4 月 19 日～5 月 26 日に実施